

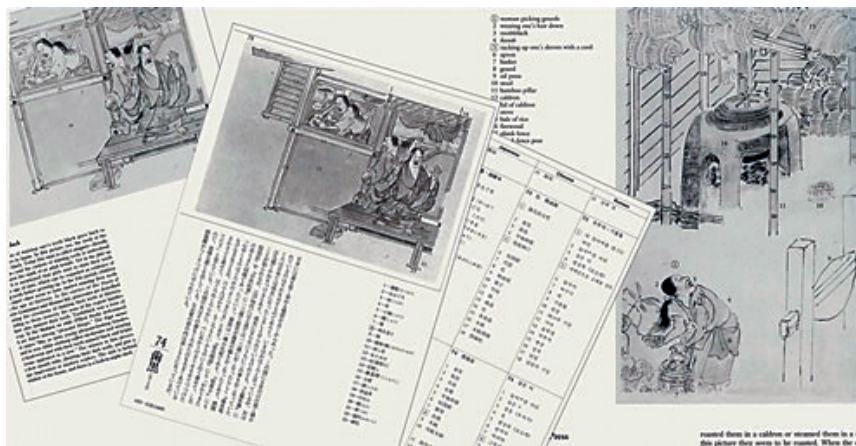
研究班紹介

第1班 『マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引』 編纂共同研究

ジョン・ボチャリ (非文字資料研究センター客員研究員 / 研究班代表)

『マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引』全5巻のうち、21世紀COEプログラムにおいてVol.1/Vol.2を、センター第一期共同研究においてVol.3を刊行した。その後、2018年3月に第4巻本文編(英語)を刊行した。本研究の目的は、3年後を目途に、完訳版

全5巻を刊行することである。この編纂事業を通して、歴史学・民俗学・人類学・文学など、様々な分野の方々が全5巻の完訳本に取められた日本の「常民生活」のあり様を研究の参考にしてくれることを期待している。



研究班紹介

第2班 中国近世・近代における生活・風俗の研究

松浦 智子 (非文字資料研究センター研究員 / 研究班代表)

第四期の共同研究「第二期『東アジア生活絵引(中国江南編)』編纂のための基礎作業」にて取り組んだ活動をベースとしつつ、中国近世・近代における生活や風俗のあり方について検討を行う。検討に当たっては、「営業写真」を中心とした各種図像資料を中心に据えることとする。「営業写真」は『凶画日報』に連載された作品であり、20世紀初頭の上海における様々な職業に絵・文をもって解説を加えたものである。多様な職業について細部まで表現した本作品は近代社会へと移行しつつ

あった当時の中国の生活・風俗を把握するには絶好の非文字資料であり、これを素材として行われる検討は中国社会の日常に対する私たちの理解を一層豊かなものへと導こう。

なお、検討に当たっては「営業写真」のキャプションの分析だけにとどまらず、各種絵画資料や写真資料との比較・検討も並行して行う。こうした作業を通じて、より正確な資料内容の把握が可能になると考える。